

南部幹線用水路6号サイホン部舗装復旧工事

材 料 承 諾 願

株式会社舩ノ内組

1013-55-005

南部幹線用水路6号サイホン部舗装復旧工事

殿

御承認申請図

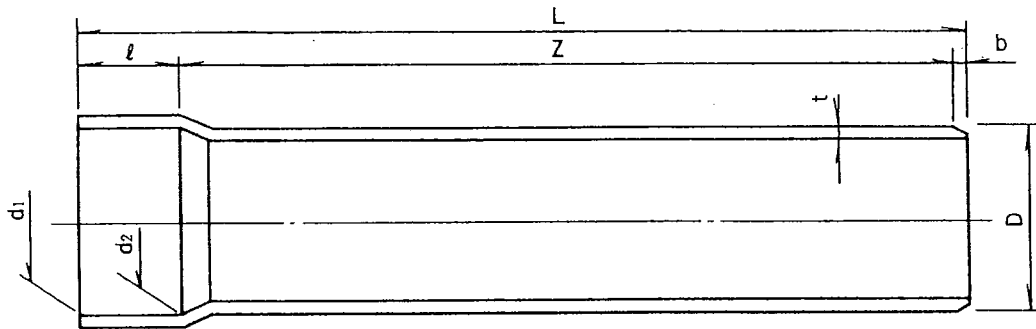
株式会社 **クボタ**

合成管営業第一部
合成管営業第二部

御承認申請図

年 月 日





単位：mm

対象品	呼び径	D	t	Z±15	L(参考)	d ₁	d ₂	ℓ	b(参考)
	●50	60±0.2	1.8 ^{+0.4} ₋₀	4 000	4 063	60.8±0.3	59.1±0.3	63 ⁺⁴ _{-0.5}	0
	●65	76±0.3	2.2 ^{+0.6} ₋₀	4 000	4 061	76.6±0.3	75.3±0.3	61 ⁺⁴ _{-0.5}	0
	75	89±0.3	2.7 ^{+0.6} ₋₀	4 000	4 069	89.6±0.3	88.3±0.3	64 ⁺⁵ ₋₀	5
	100	114±0.4	3.1 ^{+0.8} ₋₀	4 000	4 089	114.7±0.3	113.2±0.3	84 ⁺⁵ ₋₀	5
	125	140±0.5	4.1 ^{+0.8} ₋₀	4 000	4 109	140.9±0.4	139.1±0.4	104 ⁺⁵ ₋₀	5
	150	165±0.5	5.1 ^{+0.8} ₋₀	4 000	4 137	166.0±0.5	163.9±0.5	132 ⁺⁵ ₋₀	5
	200	216±0.7	6.5 ^{+1.0} ₋₀	4 000	4 210	217.9±0.8	213.9±0.8	200 ⁺¹⁰ ₋₀	10
	250	267±0.9	7.8 ^{+1.2} ₋₀	4 000	4 260	269.3±0.9	264.3±0.9	250 ⁺¹⁰ ₋₀	10
	300	318±1.0	9.2 ^{+1.4} ₋₀	4 000	4 310	320.7±1.0	314.7±1.0	300 ⁺¹⁰ ₋₀	10
	350	370±1.2	10.5 ^{+1.4} ₋₀	4 000	4 360	373.1±1.0	366.1±1.0	350 ⁺¹⁰ ₋₀	10
	400	420±1.3	11.8 ^{+1.6} ₋₀	4 000	4 410	423.6±1.2	415.6±1.2	400 ⁺¹⁰ ₋₀	10
	450	470±1.5	13.2 ^{+1.8} ₋₀	4 000	4 460	474.0±1.2	465.0±1.2	450 ⁺¹⁰ ₋₀	10
	500	520±1.6	14.6 ^{+2.0} ₋₀	4 000	4 510	524.5±1.3	514.5±1.3	500 ⁺¹⁰ ₋₀	10
	600	630±3.2	17.8 ^{+2.8} ₋₀	4 000	4 610	635.3±2.1	623.3±2.1	600 ⁺¹⁰ ₋₀	10

- 備考 1. 無印はJIS K6741規格品
 ●印はクボタ規格品
 2. 外径Dの許容差は平均許容差を示す。

第三角法	日付	尺度	図名	硬質塩化ビニル管 (TSスリーブ直管・VU)
承認	検図	担当 BY		
株式会社クボタ KUBOTA Corporation			図番	1305-1
				所属

テクトン[®]

Geotextile For Separation and Filtration

CHORI CO., LTD.

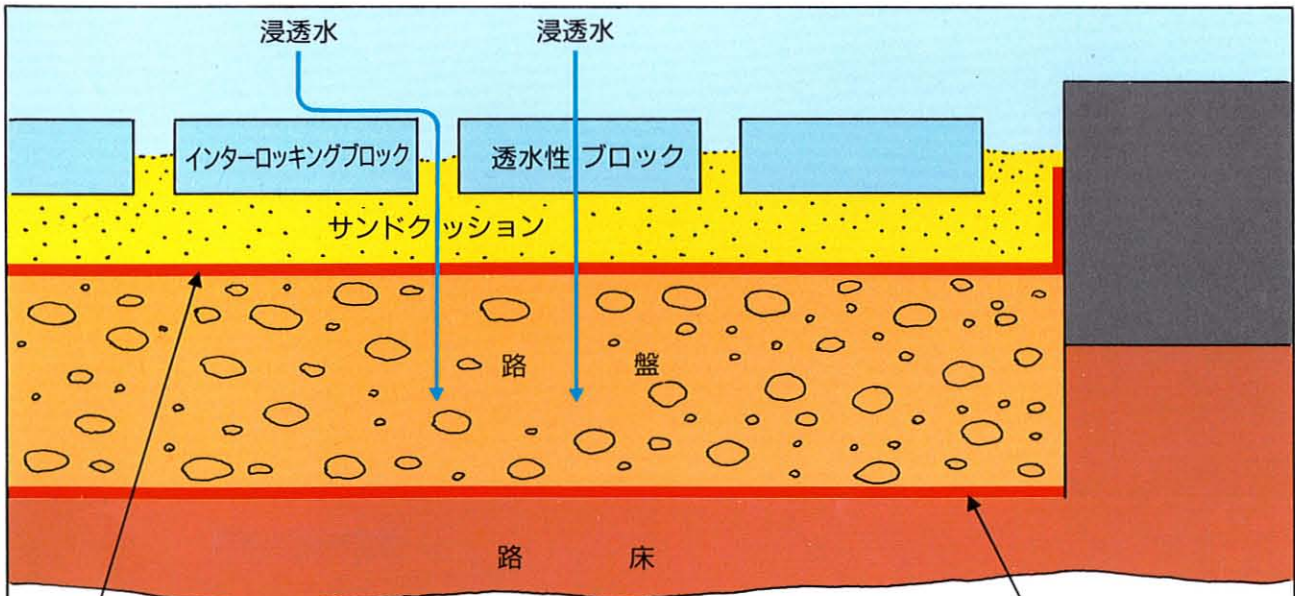


インターロッキングブロック用 ジオテキスタイル

ポリプロピレン100% スパンボンドヒートボンドタイプ不織布

スーパースリム ジオ!! 0.5mm以下の分離、フィルター層です。

- 1.土層分離機能** 異なる大きさの土層どうしが混入するのを防ぎます。
- 2.フィルター機能** 水は透過し土粒子をシャットアウトします。目詰りもほとんどありません。
- 3.補強機能** 転圧不足になりがちな軟弱路床を補強します。



テクトン 3151、3201

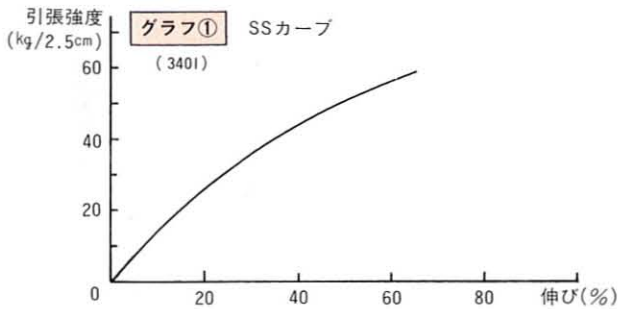
インターロッキングブロック舗装の特色のひとつが透水性舗装です。しかし透水時に水と共に敷砂が路盤に流出し、舗装面の不陸の一因となることがあります。テクトンは土中であって水を通し砂を逃がしません。テクトンをサンドクッションの下に敷設することにより、この問題を最小限に抑えます。

テクトン 3401

テクトンは荷重時の伸びが少なく、つまり荷重分散効果の高いジオテキスタイルです。路床と路盤の間に敷設することで透水時にも路盤を安定維持します。また軟弱路床の際の遮断層の役割も兼ねると共に、路床のCBR値の向上を図ることも可能です。

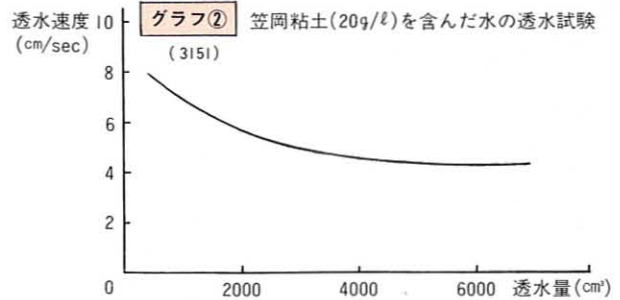
軽量で高強度、施工性も抜群!

テクトンは低コストで安定した分離層、フィルター層を形成します。



グラフ①

テクトンは荷重時(引張時)の伸びが少ない高タフネスなジオテキスタイルです。荷重がシート全体に効率よく分散し、軟弱地盤の補強にも効果的です。またテクトンの特性として強度に方向性がありません。つまりどの方向から引張しても同じ強度が得られますから土中において面としての分離機能、補強機能をいかに発揮します。



グラフ②

テクトンは非常に薄いジオテキスタイルです。従って土中であっても土粒子による目詰まりが起こり難く、安定した透水性の維持と、透水時の土(砂)の流失を防止します。また、品番により異なる大きさの口径がテクトンの表面には開いています。これにより周辺の土の粒土分布に適した品番を選択することが可能です。

■施工における留意点

- ①テクトンは現場に応じてカットして下さい。カットははさみ、カッターで簡単に切断できます。
- ②テクトンの重ね合わせ(オーバーラップ)は、サンドクッション下で10cm~15cm、路床部に敷設する場合は20cm~30cm程度で結構です。
- ③サンドクッション下に敷設する品番の目安は下記の通りです。
 - 歩道 - 3151
 - 歩道(軽車両通行) - 3201
- ④テクトンには直接重機が乗らないようにして下さい。
- ⑤テクトン敷設後の固定用具として、別売で簡単に固定可能な「プラピン」を用意しております。

■物性・規格

品番	3151		3201		3401		試験方法
	ノーマルタイプ	ワイドタイプ	ノーマルタイプ	ワイドタイプ	ノーマルタイプ	ワイドタイプ	
幅	1.95m	3.83m	1.95m	3.83m	3.83m	5.00m	
巻長	91m		91m		91m		
重量	10kg	20kg	13kg	25kg	48kg	62kg	
面積	177m ²	348m ²	177m ²	348m ²	348m ²	455m ²	
直径	18cm		19cm		25cm		
引張強度	タテ	0.6tf/m		1.0tf/m		2.4tf/m	JIS L-1096
	ヨコ	0.6tf/m		1.0tf/m		2.4tf/m	
引張伸度	タテ	60%		60%		60%	JIS L-1096
	ヨコ	60%		60%		60%	
単位重量	50 g/m ²		60 g/m ²		135 g/m ²		JIS L-1096
厚み	0.25mm		0.26mm		0.47mm		JIS L-1085
透水係数	1.9×10 ⁻¹ cm/sec		2.8×10 ⁻² cm/sec		1.2×10 ⁻² cm/sec		JIS A-1218

代理店

蝶理株式会社

【東京】 〒103 東京都中央区日本橋堀留町2-4-3
TEL.03-3665-2286 FAX.03-3665-2431

【大阪】 〒541 大阪市中央区瓦町2-4-7
TEL. 06-228-5356 FAX. 06-228-5637

【福岡】 〒810 福岡市中央区天神2-13-7
TEL.092-781-8476 FAX.092-712-2079

材 料 承 認 願

品質証明書

(材料名 : テクトン3151)




蝶 理 株式会社

平成 13 年 9 月 3 日

株式会社 井ノ内組 殿

品質証明書












テクトン(ジオテキスタイル)の品質を下記の通り
証明いたします。

 蝶 理 株式会社

大阪 06-6228-5356
東京 03-3665-2286
福岡 092-436-2005

品 番 : 3151
素 材 : ポリプロピレン熱圧着不織布

試験項目		物性値	試験方法
引張強度 [kgf(kN)/2.5cm]	㍻	15.0(0.15) 以上	JIS L-1096
	㍺	15.0(0.15) 以上	
引張伸度 (%)	㍻	60 ± 5	JIS L-1096
	㍺	60 ± 5	
透水係数 (cm/sec)		1.9×10^{-1}	JIS A-1218
重量 (g/m ²)		50 ± 5	JIS L-1096
厚み (mm)		0.25 ± 0.05	JIS L-1085

所 長	次 長	課 長	工 務 官	係 長	監 督 職 員
		 	 	   	

材 料 承 諾 願

平成13年 9月 6日

監督職員 殿

会 社 名 株式会社 舛ノ内組


請 負 者

現 場 代 理 人 斉 藤 義 雄 

工 事 名 両総農業水利事業 南部幹線用水路6号サイホン部舗装復旧工事

下記のとおり関係書類を提出しますので承諾願います。

記

材 料 名	規 格 等
加熱アスファルト混合物	粗粒度アスファルト混合物(20) 康和建設株式会社
	 蜜粒度アスファルト混合物(20) 康和建設株式会社

※ 2部提出のこと。一部については右記「承諾済」の印を押し返納する。
メーカー等の控えとなる。



所 長	次 長	課 長	工 務 官	係 長	監 督 職 員

材 料 承 諾 願

平成13年 9月 6日

監督職員 殿

会 社 名 株式会社 舛ノ内組

請 負 者

現 場 代 理 人 齊 藤 義 雄 

工 事 名 両総農業水利事業 南部幹線用水路6号サイホン部舗装復旧工事

下記のとおり関係書類を提出しますので承諾願います。

記

材 料 名	規 格 等
加熱アスファルト混合物	粗粒度アスファルト混合物(20) 康和建設株式会社
	粗 粒度アスファルト混合物(20) 康和建設株式会社

※ 2部提出のこと。一部については右記「承諾済」の印を押し返納する。
メーカー等の控えとなる。

アスファルト舗装の混合物承認願

康和建設株式会社千葉支店
多古瀝青混合工場試験室

千葉県香取郡多古町飯笹855-3番地
電話 (0479) 75-1145 番

〔使用アスファルト混合物承認願ひ〕

平成 13 年 9 月 3 日

発注者 関東農政局両総農業水利事業所
受注者 株式会社タキノ内組
工事名 両総農業水利事業
南部幹線用水路6号サイホン部舗装復旧工事
場 所 山武郡松尾町下大蔵地内
工 期 平成 13年 8月 30日～平成 13年 10月 1日

本工事に使用する下記アスファルト混合物については、事前審査の認定を受けております。

使用アスファルト混合物承認願ひとしまして、「認定証」および、「総括一覧表」、「設計値一覧表」を、提出致します。
よろしくお願ひいたします。

康和建設株式会社

工場名 康和建設株式会社 康和瀝青混合工場
住 所 〒289-0221 千葉県松戸市古町飯笹855-3
T E L 0479-75-1146
F A X 0479-75-1146

1. 加熱アスファルト混合物

粗粒度アスファルト混合物 (20mm-50回)

密粒度アスファルト混合物 (20mm-50回)

2. 再生アスファルト混合物

認定番号 8312-031-0103

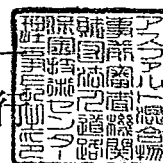
認 定 証

康和建設(株)千葉瀝青混合工場
工場長 杉田 一誠 殿

アスファルト混合物事前審査制度による審査の結果
貴混合所の下記アスファルト混合物を認定します。

平成13年 3月14日

財団法人 道路保全技術センター
理事長 多田 宏 行



記

番号	認定混合物記号	アスファルト混合物の名称
1	V-02	粗粒度アスファルト混合物(20)(50回) 60/80
2	V-04	密粒度アスファルト混合物(20)(50回) 60/80
3	V-06	密粒度アスファルト混合物(13)(50回) 60/80
4	V-08	細粒度アスファルト混合物(13)(50回) 60/80
5	R-02	再生粗粒度アスファルト混合物(20)(50回) 60/80
6	R-03A	再生特別対策粗粒度アスファルト混合物(20)(75回) 改質Ⅱ型
7	R-04	再生密粒度アスファルト混合物(20)(50回) 60/80
8	R-04A	再生密粒度アスファルト混合物(20)(75回) 60/80
9	R-05A	再生特別対策密粒度アスファルト混合物(20)(75回) 改質Ⅱ型
10	R-06	再生密粒度アスファルト混合物(13)(50回) 60/80
11	R-08	再生細粒度アスファルト混合物(13)(50回) 60/80
12		以上
13		
14		
15		

有効期間	平成13年 4月 1日 ~ 平成14年 3月31日
------	---------------------------

※ (T)がついた混合物は東京都土木材料仕様書の基準値をも満足するものである。
 (K)がついた混合物は建設省関東地方建設局の基準値を満足するものである。

アスファルト混合物事前審査・認定混合物

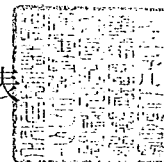
[設計値一覧表]

康和建設株式会社
千葉瀝青混合工場

平成13年度

種別	記号	混合物名	使用 アスファルト (密度)	混合物設計値				
				基準密度 (理論密度) (g/cm ³)	AS量 (%)	粒度(%)		
						2.36mm	0.075mm	
一般 合 材	V-02	粗粒度アスファルト混合物 (20) [50]	60~80 (1.037)	2.396 (2.503)	5.00	28.1	4.5	
	V-04	密粒度アスファルト混合物 (20) [50]	60~80 (1.037)	2.406 (2.494)	5.30	39.0	5.8	
	V-06	密粒度アスファルト混合物 (13) [50]	60~80 (1.037)	2.377 (2.474)	5.50	39.6	6.0	
	V-08	細粒度アスファルト混合物 (13) [50]	60~80 (1.037)	2.349 (2.446)	6.40	53.0	7.6	
再 生 合 材	R-02	再生粗粒度アスコン (20) [50]	60~80 (1.039)	2.398 (2.506)	5.00	29.0	4.6	
	R-03A	再生改質粗粒度アスコン (20) [75]	改質Ⅱ型 (1.031)	2.403 (2.508)	4.90	29.0	4.6	
	R-04	再生密粒度アスコン (20) [50]	60~80 (1.037)	2.407 (2.497)	5.30	39.5	5.8	
	R-04A	再生密粒度アスコン (20) [75]	60~80 (1.037)	2.411 (2.501)	5.20	39.5	5.8	
	R-05A	再生改質密粒度アスコン (20) [75]	改質Ⅱ型 (1.031)	2.409 (2.499)	5.20	39.5	5.8	
	R-06	再生密粒度アスコン (13) [50]	60~80 (1.037)	2.379 (2.477)	5.50	40.1	5.9	
	R-08	再生細粒度アスコン (13) [50]	60~80 (1.036)	2.352 (2.448)	6.40	53.0	7.5	

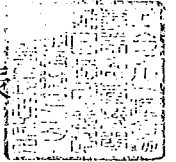
事前審査認定アスファルト混合物（新規混合物）総括表



認定番号	8312-031-0103	混合所名	康和建设(株) 千葉瀝青混合工場			
認定証混合物番号					1 / 11	
混合物記号	V-02	有効期間	平成13年 4月 1日 ~ 平成14年 3月31日			
混合物の名称	粗粒度アスファルト混合物(20) (50) 60/80					
最大粒径	20 mm	突固め回数	50 回			
アスファルトの種類	ストレート 60/80		配合設計年月	平成12年11月		
使用骨材の室内配合・材質・産地			現場配合			
骨材名	配合比 (%)	材質	産地	種別	配合比 (%)	計量値 (kg)
C-				5ピン		
4号碎石				4ピン	14.3	86
5号碎石	19.0	石灰岩	栃木県安蘇郡葛生町	3ピン	32.3	194
6号碎石	38.0	硬質砂岩	茨城県西茨城郡岩瀬町	2ピン	20.9	125
7号碎石	16.5	"	"	1ピン	24.7	148
スクリンガス	10.5	石灰岩	栃木県安蘇郡葛生町			
細砂	13.0	洗砂	千葉県香取郡栗源町	ダスト	0.7	4.2
石粉	3.0	石灰岩	東京都西多摩郡奥多摩町	石粉	2.1	12.6
				アスファルト	5.0	30.0
				改質材*		
計	100.0			計	100.0	599.8
通過質量百分率	ふるい目	室内配合	現場配合	確認抽出試験	粒度範囲	
	37.5 mm					
	31.5 mm					
	26.5 mm	100	100	100	100	
	19 mm	99.2	99.2	100	95 ~ 100	
	13.2 mm	82.6	82.7	83.4	70 ~ 90	
	4.75 mm	47.1	46.5	45.8	35 ~ 55	
	2.36 mm	28.3	28.1	26.3	20 ~ 35	
	600 μm	19.4	19.2	19.5	11 ~ 23	
	300 μm	13.1	13.2	13.2	5 ~ 16	
%	150 μm	6.6	6.8	6.7	4 ~ 12	
	75 μm	4.5	4.5	4.4	2 ~ 7	
		室内配合	現場配合	確認試験	基準値	
アスファルト量 (%)		設計 5.0	設定 5.0	抽出 4.8	4.5 ~ 6	
マ安定度試験	密度 (g/cm ³)	2.398	2.396	2.400		
	理論密度 (g/cm ³)	2.503	2.503	2.503		
	空隙率 (%)	4.2	4.3	4.1	3 ~ 7	
	飽和度 (%)	73.4	73.0	73.9	65 ~ 85	
	安定度 (kN)	12.22	12.38	17.98	4.90 以上	
	フロー値 (1/100cm)	29	28	28	20 ~ 40	
	残留安定度 (%)	—	—	—		
基準密度 (g/cm ³)		—	2.396	—		
動的安定度 (回/mm)		—	—	—		
すりへり量 (cm ²)		—	—	—		
透水係数 (cm/sec)		—	—	—		
混合物出荷目標温度		160 ± 10 °C				

* : プラントミックスタイプの改質材を使用の場合、現場配合の配合比および計量値は、その固形分を表示してある。

事前審査認定アスファルト混合物（新規混合物）総括表



認定番号	8312-031-0103	混合所名	康和建设(株) 千葉瀝青混合工場			
認定証混合物番号					2 / 11	
混合物記号	V-04	有効期間	平成13年 4月 1日 ~ 平成14年 3月31日			
混合物の名称	密粒度アスファルト混合物(20)(50)60/80					
最大粒径	20 mm	突固め回数	50 回			
アスファルトの種類	ストレート 60/80		配合設計年月	平成12年11月		
使用骨材の室内配合・材質・産地			現場配合			
骨材名	配合比 (%)	材質	産地	種別	配合比 (%)	計量値 (kg)
C-				5ピン		
4号碎石				4ピン	12.8	77
5号碎石	18.0	石灰岩	栃木県安蘇郡葛生町	3ピン	30.3	182
6号碎石	31.0	硬質砂岩	茨城県西茨城郡岩瀬町	2ピン	15.1	91
7号碎石	13.0	"	"	1ピン	32.7	196
スクリングス	15.5	石灰岩	栃木県安蘇郡葛生町			
細砂	18.5	洗砂	千葉県香取郡栗源町	ダスト	0.8	4.8
石粉	4.0	石灰岩	東京都西多摩郡奥多摩町	石粉	3.0	18
				アスファルト	5.3	31.8
				改質材*		
計	100.0			計	100.0	600.6
通過質量百分率	ふるい目	室内配合	現場配合	確認抽出試験	粒度範囲	
	37.5 mm					
	31.5 mm					
	26.5 mm	100	100	100	100	
	19 mm	99.3	99.3	98.3	95 ~ 100	
	13.2 mm	83.4	83.8	85.0	75 ~ 90	
	4.75 mm	54.5	54.1	56.7	45 ~ 65	
	2.36 mm	39.1	39.0	39.5	35 ~ 50	
	600 μm	27.0	27.2	29.0	18 ~ 30	
	300 μm	17.8	17.9	19.3	10 ~ 21	
%	150 μm	8.8	8.8	9.6	6 ~ 16	
	75 μm	5.9	5.8	6.0	4 ~ 8	
		室内配合	現場配合	確認試験	基準値	
アスファルト量 (%)		設計 5.3	設定 5.3	抽出 5.1	5 ~ 7	
マ安定度試験	密度 (g/cm³)	2.404	2.406	2.413		
	理論密度 (g/cm³)	2.494	2.494	2.494		
	空隙率 (%)	3.6	3.5	3.3	3 ~ 6	
	飽和度 (%)	77.3	77.8	79.0	70 ~ 85	
	安定度 (kN)	13.33	13.09	20.34	4.90 以上	
	フロー値 (1/100cm)	31	31	30	20 ~ 40	
残留安定度 (%)		—	—	—		
基準密度 (g/cm³)		—	2.406	—		
動的安定度 (回/mm)		—	—	—		
すりへり量 (cm²)		—	—	—		
透水係数 (cm/sec)		—	—	—		
混合物出荷目標温度		160 ± 10 °C				

* : プラントミックスタイプの改質材を使用の場合、現場配合の配合比および計量値は、その固形分を表示してある。

平成 13 年 9 月 6 日

関東農政局 両総農業水利事業所

殿

申請者 株式会社 井ノ内組

ハイスイコー(水閘)御承認願

下記製品を貴地区暗渠排水事業用水閘として御採用賜わりたく御承認お願い致します。

記

1. 名称 **ハイスイコー(水閘)実用新案**
2. 製造業者名 **英吉工業株式会社**
東京都港区西新橋2丁目8番4号
電話 (03) 3591-5491
3. 形状・規格 別添カタログの通り

平成 13 年 9 月 3 日

株式会社 井ノ内組 殿

ハイスイコー(水閘)材質証明

ハイスイコーの製品材質及び規格は下記の通りです。

(1) チーズ

硬質塩ビ樹脂を原料として成形加工したもの (J I S - K6739) (J I S - K6743)

(2) 立上り管及び中心棒

硬質塩ビ樹脂を原料として押出形成したもの (J I S - K6741の規格品)

(3) 固定板

硬質塩ビ樹脂を原料として形成加工したもの

(4) 止水栓

合成ゴムを原料として成形加工したもの

(5) 蓋

立上り管の蓋はA B S樹脂を原料として成形加工したもの

150 型は硬質塩ビ樹脂を原料として加工したもの

(6) 中心棒取手 (チーズ) は、硬質塩ビ樹脂を原料として成形加工したもの

(J I S - K - 6743)

(7) アダプター

ポリエチレン樹脂を原料として成形加工したもの

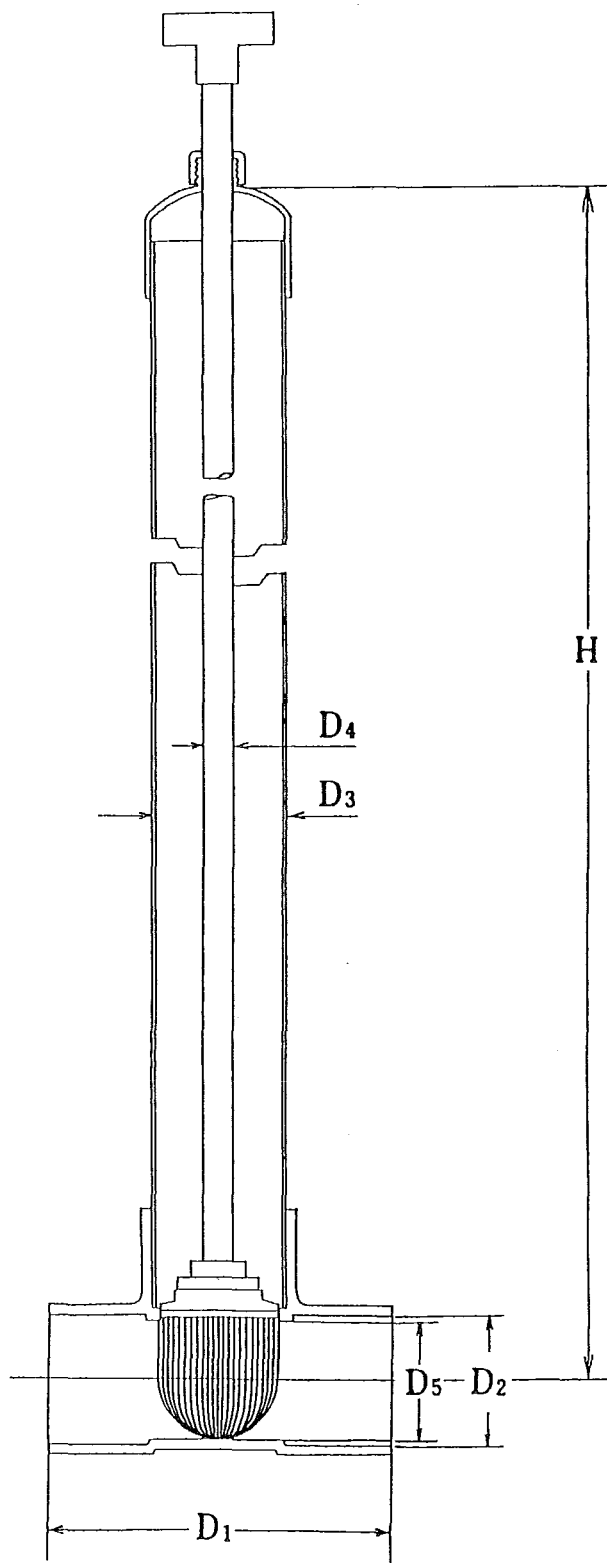
東京都港区西新橋 2 丁目 8 番 4 号

英吉工業株式会社

電話 03(3591)5 4 9 1 (代)

記号 呼称	D_1	D_2	D_3	D_4	D_5	H
VU 75	240	89	89	26	77	

Hは設計に応じて調整致します。



ハイスイコー

●暗渠のパイオニア●実用新案

御承認願

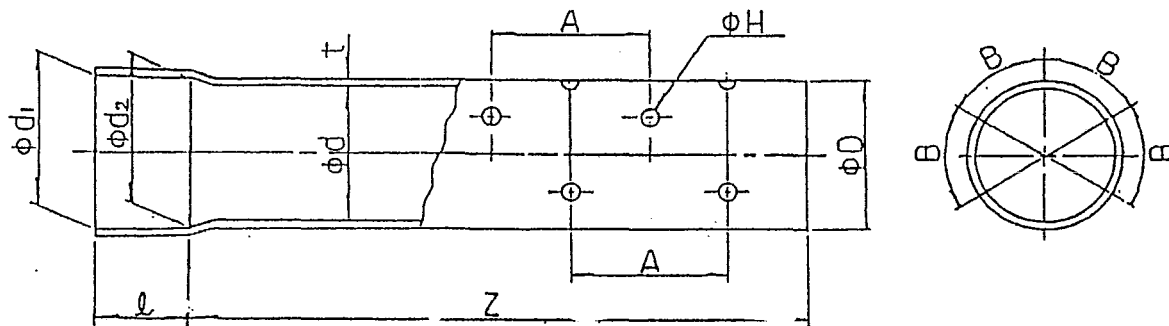
 英吉工業株式会社

〒105-0003
本 社 東京都港区西新橋2-8-4
寺尾ビル
TEL (03)3591-5491
FAX (03)3591-5493

御承認申請函

平成 13 年 9 月 3 日

















単位：mm

呼び径	D	t	d	Z	d1	d2	L	A	B	H	孔数
50	60	2.0	56	3955	60.6	59.6	40	200	31	7	'98
75	89	3.0	83	3954	89.7	88.5	40	200	46	12	98
100	114	3.5	107	3944	114.8	113.2	50	200	59	12	98
125	140	4.5	131	3928	140.9	139.1	65	200	73	12	95
150	165	5.5	154	3912	166.1	163.9	80	200	86	20	95
200	216	7.0	202	3875	217.4	214.6	115	200	113	20	90
250	267	8.4	250	3850	268.6	265.4	140	200	139	20	88
300	318	9.9	298	3821	319.8	316.2	165	200	166	20	88
350	370	11.2	348	3782	372.0	368.7	200	200	193	20	88
400	420	12.6	395	3759	422.3	418.4	220	200	219	20	88
500	520	15.6	489	3690	522.8	518.2	280	200	290	20	85

- 備考 1. 原管は、JIS K-6741のVUである。
 2. 孔数は、参考値である。

第三角法 THIRD ANGLE PROJECTION	日付 DATE 1985.10.16	尺規 SCALE 	納入 CUSTOMER
承認 APPROVED BY 	検査 CHECKED BY 	設計 DESIGNER 	技師 DRAWN BY
株式会社 久保田 KUBOTA Corporation			有孔管(原管VU・全長4M) 3305-11△

所 長	次 長	課 長	工 務 官	係 長	監 督 職 員
		 	 	   	 

材 料 承 諾 願

平成13年 9月 6日

監督職員 殿

会 社 名 株式会社 舛ノ内組

請 負 者

現 場 代 理 人 齊 藤 義 雄 

工 事 名 両総農業水利事業 南部幹線用水路6号サイホン部舗装復旧工事

下記のとおり関係書類を提出しますので承諾願います。

記

材 料 名	規 格 等
ネットフェンス	H=1.2m (A-II型) 日鐵建材工業株式会社

※ 2部提出のこと。一部については右記「承諾済」の印を押し返納する。
メーカー等の控えとなる。



平成 13 年 9 月 3 日

株式会社 外ノ内組

殿

材料承認願図

工事名 南部幹線用水路6号下部舗装復旧工事

御承認捺印欄

 **日鐵建材工業株式會社**

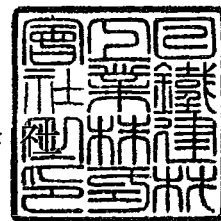
総販売元

 **日建フェンス工業株式会社**

農林水産省型立入防止柵

材 料 仕 様 書

日鐵建材工業株式会社



1. 適用範囲

本仕様書は、農林水産省（殿）向立入防止柵（呼称：日鐵ネットフェンス）に適用する。

2. 材質

2-1 日鐵ネットフェンスに用いる部材の材質は、表-1のとおり。

表-1

部材・部品	規 格
主 材	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」 SS 400
線 材	別紙ひし形金網の仕様書参照
取 付 金 具	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」 SS 400
縦 骨 線	JIS G 3547「亜鉛めっき鉄線」(S) 3種 SWMGS-3
ボ ル ト	JIS B 1180「六角ボルト」 4.6
ナ ッ ト	JIS B 1181「六角ナット」 5

2-2 一般構造用圧延鋼材の化学成分及び機械的性質は、表-2及び表-3のとおり。

表-2

記 号	化 学 成 分 %				
	C	S i	M n	P	S
SS 400	—	—	—	0.050 以下	0.050 以下

表-3

記号	機械的性質 降 伏 点 N/mm ²	引 張 強 さ N/mm ²	伸 び %	試 験 片	曲 げ 性		
					曲げ角度	内側半径	試験片
SS 400	245以上	400~510	21以上	5号	180°	厚さの1.5倍	1号

5. 部材使用範囲

主柱、隅柱、控柱及び胴縁使用範囲は表-6のとおり。

表-6

型 式	柵 高 さ	部 材				備 考
		主 柱	隅 柱	控 柱	胴 縁	
A-I	H-1.0 m	KAB	└×55×55×4	————	└×40×40×2.8	
A-II	H-1.2 m	KAB	└×55×55×4	————	└×40×40×2.8	
A-III	H-1.5 m	KB	└×55×55×4	————	└×40×40×2.8	
A-IV	H-1.5 m	KB	└×55×55×4	————	└×40×40×2.8	忍び返し付
B-I	H-1.2 m	KAB	└×55×55×4	KAB	└×40×40×2.8	
B-II	H-1.5 m	KAB	└×55×55×4	KAB	└×40×40×2.8	
B-III	H-1.5 m	KAB	└×55×55×4	KAB	└×40×40×2.8	忍び返し付

亜鉛めっき鉄線（S）製ひし形金網
（Z-GS3）
材料仕様書

1. 適用範囲

本仕様書は、ネットフェンスに使用する亜鉛めっき鉄線（S）製ひし形金網及び骨線について適用する。

2. 材料規格

ネットフェンスに使用するひし形金網及び骨線の規格は下記のとおり。

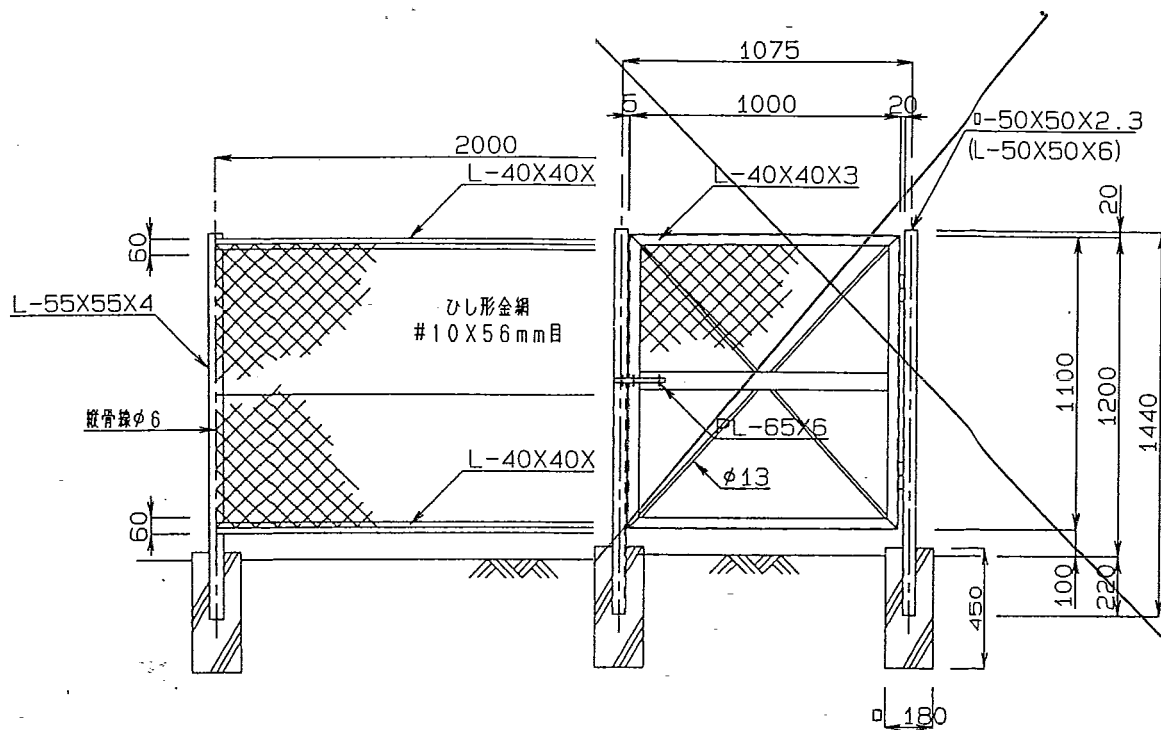
部 材	規 格
ひし形金網	JIS G 3552「ひし形金網」亜鉛めっき鉄線（S）製ひし形金網 Z-GS3 (JIS G 3547「亜鉛めっき鉄線」亜鉛めっき鉄線（S）3種 SWMGS-3を使用したもの)
骨 線	JIS G 3547「亜鉛めっき鉄線」亜鉛めっき鉄線（S）3種 SWMGS-3

3. 表面処理

ネットフェンスに使用するひし形金網及び骨線の亜鉛付着量は下記のとおり。

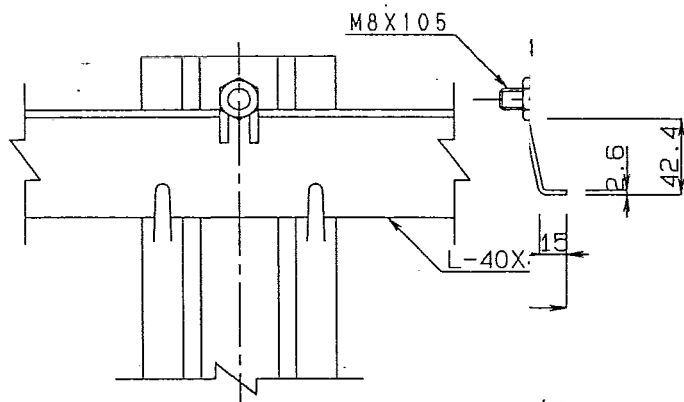
部 材	線径 mm	亜鉛付着量	部 材	線径 mm	亜鉛付着量
ひし形金網 (Z-GS3)	2.6	114g/m ² 以上	骨 線 (SWMGS-3)	2.6	120g/m ² 以上
	3.2	128g/m ² 以上		3.2	135g/m ² 以上
	4.0	147g/m ² 以上		4.0	155g/m ² 以上

片開き門扉：施工対象外



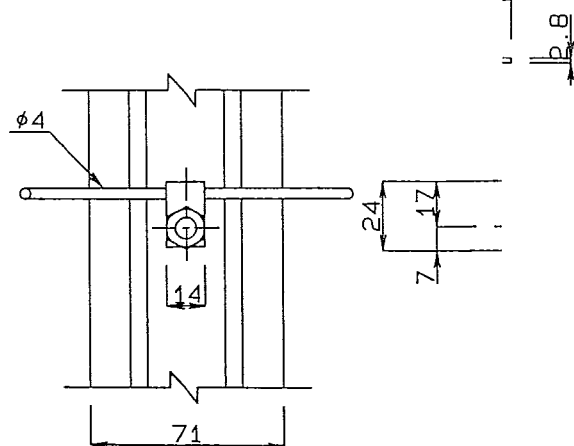
A部詳細

AB型



縁

B部詳細



隅柱

